

はしマイスター 石山人（せきさんじん）

～岩石の成形・特殊高温焼成による抹茶碗等の創作～



◆ マイスターに関すること

申請者（個人）	石山人（せきさんじん）	年齢	80歳
業種	特殊窯業（石焼）	勤務先	石山人工房（足近町）
勤務先の形態	自営業	従事期間	60年（前職の経験含む）

活動概要

石山人は、岩石を成形し、特殊高温焼成（素材の磁力反応が残る）という独自の手法で抹茶碗等を創作している。石山人として活動を行う前は建築石材会社を営んでいたことから、石材・鉱石の成分や焼成手法に詳しい。

創作された抹茶碗は、国内外の寺社仏閣や美術館等に献上・展示されているほか、高級ホテルのインテリアとして採用されている。近年は大手百貨店で個展を開催するなど、活動の幅を広げている。

◆ 評価項目に関すること

① - 1 技術力 岩石成形・世界でも類をみない特殊高温焼成

- 石山人として活動する以前は建築石材の会社を営んでおり、世界中の石材・鉱石を収集・調査していた。
 - 会社の経営を辞めてから茶碗等の制作を開始。蓄積されたデータをもとに、切り出した岩石を施盤やノミを利用して1週間かけて茶碗等の形に成形している。その後、1000度を超える熱で、微妙な温度管理を続けながら1週間焼くことにより茶碗等を創作している。
 - 作業工程は一般的な陶芸の手法とは大きく異なり、世界でも類をみない独自の焼成技術である。粘土ではなく岩石をそのまま利用し成形しているため、その作品の表面は荒々しく重厚な岩肌が残っている。また、独特の風合い（濡れたようなつや）があり、磁力反応を残している。
- ※ 原材料となる岩石は、熱を加えても割れにくい安山岩である。安山岩は、富士山系、阿蘇山系産出のもののほか、羽島市を流れる長良川上流の郡上市白鳥地域で産出されるものも積極的に利用している。

② 資格・表彰・販売実績 厚生労働大臣表彰「現代の名工」を受賞

- 平成16年に厚生労働大臣表彰「現代の名工」を受賞している。
- 平成31年春の黄綬褒章（厚生労働省関連）候補事例として、羽島市から推薦している。
- 熱田神宮、比叡山延暦寺、伊勢神宮等の100を超える有名な寺社に制作した茶碗や神器を献納しており、献納先から感謝状を授与されている。
- 創作した茶碗が高級ホテルのインテリアとして採用されている。
- インターネットによる通信販売も行っており、国内外から発注がある。

③ 認知度 新聞・テレビ（4社）で報道

- 中日新聞、岐阜新聞の取材を受け、活動概要に関する記事が掲載された。（直近：平成30年5月26日中日新聞）
- NHK、岐阜放送の取材を受け、活動概要に関する内容が放送された。（直近：平成29年12月22日NHK）
- 東海テレビの取材申し込みがあり、今年度中に取材・放送予定である。

④ 協力体制 イベント出展・ふるさと納税返礼品登録が可能

- 市のイベント等において展示等の実績はないが、今後は各種イベント等において製品の展示・販売や、ふるさと納税返礼品への登録等による協力を行うことができる。

その他 海外からの依頼で聖具等を献上

- インドのブッダガヤ大塔釈迦本尊、バチカン市国ローマ法王、英国国教会カンタベリーランベンス宮殿美術館等から依頼を受け、茶碗、聖具等を献上している。